

MUKESH KAPILA

LONDON
SPEAKER
BUREAU

▪ Health and Humanitarian Affairs Expert



Kapilaは、国際開発、人道問題、人権および外交の政策と実践、特に人道に対する罪、災害および紛争管理、そして世界の公衆衛生における専門知識を持った幅広い経験を持っています。悪の潮流に対する彼の回顧録は、その年の最優秀ノンフィクションブックにノミネートされました。

以前は、世界最大の人道的開発ネットワークである国際赤十字社および赤新月社連盟の事務総長を務めていました。以前は、ジュネーブの国連人権高等弁務官の特別顧問、そしてアフガニスタンの国連ミッションの特別顧問として、国連で様々な役割を果たしました。

その後、彼はスーダンの国連居住者および人道調整官として当時の国連最大の国別任務を指揮し、その後世界保健機関の理事になった。

カピラの他の前職は世界銀行の上級政策顧問、国連国際防災戦略の顧問、国際労働機関(UNICEF)UNAIDSその他多くの機関です。

国連に入社する前、カピラは英国外務省の海外開発管理局(後に国際開発局)に勤務し、当初はシニア保健および人口アドバイザーとして、後には彼が設立した新しい紛争 人道問題局の最初の長として就任しました。

彼はイギリスの国民健康サービスで臨床医学、一次医療、公衆衛生の分野でキャリアをスタートさせ、そこでイギリスで最初の国家HIV /エイズプログラムを保健教育局に設立し、その副所長に就任しました。

Topics

- Leadership
- Motivation